

安心して事業を引き継ぐために 事業承継支援



県内中小企業経営者の高齢化が進み、団塊世代経営者の引退が目前に迫っています。そこで企業の後継者へのバトンタッチが円滑に行われるよう、事業承継の呼びかけや相談対応などの支援を行っています。

なぜ事業承継の準備が必要?

事業承継は“現経営者から後継者へ事業のバトンタッチ”を行うことですが、単に経営者の名前を変えるだけではありません。企業がこれまで培ってきたさまざまな財産(人・モノ・金・知的財産)を引き継ぐことであり、承継後の経営を安定させるためには、早めの準備と計画的な取り組みが重要です。

●中小企業が抱える悩み

- 後継者がいないので廃業を考えている
- 会社を存続させたいが後継者が決まらない
- 技術や従業員を引き継ぐ先を探したい
- 事業承継に必要な手続きは? など



事業承継には
5~10年ほどかかります!

経営者の高齢化
・平均年齢 **60.3歳**
・引退予想年齢 **70歳前後**

いつかやろうと先送りにしていると…/

- 承継前に現経営者が亡くなってしまい、相続により資産が分散する可能性
- 後継者の選定に時間をかけられない



今から準備しましょう!

事業承継2つのケース

早めに準備した場合と、準備しない場合とでは後々次のような差が発生します。

【ケース①】早めに準備した Eさんの場合



【ケース②】準備しなかった Fさんの場合



有限会社 遠田酒店(十和田市)
えんた けいすけ 遠田 圭佑さん

もともとは保育士として働いていましたが、ゆくゆくは家業の酒店を父親から継ぐものと漠然と考えていました。県主催の事業承継セミナーを受けたことがきっかけとなり、本格的に事業承継を考え出したタイミングで支援を受け始めました。

Interview 5 「地域事業承継支援モデル構築事業」を活用しました

最初は支援者に自社の内情を全て打ち明けることに抵抗がありましたが、相談できる相手がいることはやはり安心感につながります。専門知識を持った方に相談することで自分の考えをまとめることもできました。無理に自力で進めてしまつて不安になるよりも、支援を受けて良かったと思っています。

経営スキルを学びながら3~4年かけて店を引き継ぐ予定ですが、その後も父親には相談役として支えてもらいながら事業を拡大していきたいと考えています。



「まずはご相談ください!」

青森県事業承継・引継ぎ支援センター



「会社を存続させたいが後継者が決まらない」「事業承継に必要な手続きを知りたい」など、事業承継に課題を抱える中小企業のあらゆる相談に対応し、秘密厳守で万全のサポートを行っていきます。

【ところ】青森市新町2-4-1 青森県共同ビル7階
21あおり産業総合支援センター内

【問い合わせ】☎017-723-1040



詳しくは

青森県事業承継・引継ぎ支援センター

